

各道府県におけるインターンシップの取組事例

岩手県

【組織体制】

東北3県（岩手、山形、福島）に所在する6大学が中心となり、産官と連携し、平成26年から東北インターンシップ推進コミュニティを発足。平成28年度から一部国庫補助を活用しながら、参画大学同士の費用負担で「インターンシップ in 東北」を運営。

【取組内容】

コミュニティに参画する大学毎に、「インターンシップ in 東北」をプラットフォームとして、学生と受入企業とのマッチングを実施（東北3県であれば出身地以外でのインターンシップの参加も可能。）。さらに、インターンに参加する学生向けに、事前学習会（ビジネスマナーやインターン参加の目標設定等）や事後学習会（今後の学生生活への活かし方）を実施している。

また、岩手県では、首都圏在住等の県出身学生の県内企業でのインターンシップを進めるため、県外学生向けの広報やイベントを実施するとともに、インターンシップアドバイザーを配置し、インターン相談窓口機能の強化を図っている。

福島県

県においてインターンシップ事業（民間企業への委託）を実施。

【取組内容】

県において、学生と企業のマッチングサイトを構築している。

受入企業に対しては、インターンシッププログラムの開発をサポートするため、ガイドブックの作成に加え、アドバイザーの派遣を行い、大学等に対しては県のインターンシップ事業に対する理解を促進するためのガイドブックを作成し、学生への周知協力を依頼している。

山口県

【組織体制】

平成22年度に設立した山口県インターンシップ推進協議会に事業を委託し、取組を実施。経営者協会や県内大学等と行政が手を組み、産官学連携で事業に取り組む。

【取組内容】

協議会では①運営の仕組み化と②コーディネーター機能の充実に取り組んでいる。①運営の仕組み化としては、専用サイトを設けて、申込書、契約書等のフォーマット化やマッチングの仕組みを設けるとともに、②コーディネーター機能の充実にしては、コーディネーターが受入れ企業の開拓や学生向け事前研修を実施している。

さらに、平成28年度からはコーディネーターを増員し、マッチングの強化やインターンシップの受入カリキュラムのモデル作成に取り組むとともに、参加学生の交通費・宿泊費の半額助成に取り組んでいる。